



東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科



経尿道的前立腺切除術を受けられる患者様への説明文書

■経尿道的前立腺切除術とは？

- ① 手術: この手術は尿道から挿入した内視鏡を用いて、ループ状の電気メスで肥大した前立腺を切り取り、洗って体外に排出する方法です。TUR-P と呼ばれています。この方法は、最も根本的な治療法であり、尿道から削るため体外に傷がつかず痛みが少ない、尿道カテーテルを抜いた後すぐに排尿可能で退院も早い、などの利点があります。
- ② 麻酔: 腰椎麻酔または硬膜外麻酔ですが、全身麻酔でもできます。
- ③ 体位: 手術は寝て両足を開く姿勢(載石位)で行われます。
- ④ 手術時間: 実際の手術時間は前立腺の大きさによって異なりますが、1-2時間です。手術終了時には尿道にカテーテルという管が挿入されて病室に戻ります。2-4日後にカテーテルが抜かれ、その後の排尿の状態をみて退院となります。

■手術中に起こりうること

手術は安全に行われますが、下記のような合併症が起きることがあります。

- ① 出血: 大きな前立腺を削ると出血量も多くなり、血圧が下がることがあります。その場合、血圧を上げる薬(昇圧剤)の使用や場合によっては輸血が行われます。手術前に自己血といって、自分の血液をあらかじめとって準備しておくことがあります。
- ② 前立腺の壁の穿孔: 前立腺の外側の壁に穴があき、破れた穴から手術時に使用する還流液がもれ出ることがあります。小さな穿孔ではカテーテルを長めにいれておけば自然に治ります。大きな穿孔では開腹して修復する可能性があります。
- ③ 水中毒: 手術時間が長くなると、切除された前立腺の断面から還流液が体内に吸収されて水中毒(体内の水分が過剰になること、TUR 反応ともいいます)が起こり、気分が悪くなります。尿を出す薬(利尿剤)や昇圧剤が使用されます。

■手術後・退院後に起こりうること

- ① 出血：外からは見えませんが、削った前立腺のあとが治るのには1ヶ月前後かかります。その間は排尿時に出血し、血尿が出るがありますが、通常は自然に出血は止まります。下腹部に強く力を入れるような動作を避ける、血尿がでたら水分を多くとり尿を流すようにします。詳しくは退院時にお聞き下さい。
- ② 精巣上体炎：まれに細菌が精巣上体(陰嚢の上側方)に入り、陰嚢が腫れることがあります。抗生物質を内服して治します。
- ③ 頻尿・排尿痛：通常数週間で改善します。
- ④ 尿道狭窄：手術後まれに見られます。その場合、尿道を広げる処置(ブジー)や尿道切開術が行われ、繰り返す場合は尿道形成術が必要になることがあります。
- ⑤ 尿失禁：カテーテルを抜いた直後は尿が間に合わず、もれやすくなります。内服薬や尿道括約筋を強化するトレーニングを行います。
- ⑥ 男性機能低下(ED)：術後に勃起力が低下したと訴える患者さんがおられますが、多くはありません。ただし、射精した精液が膀胱に逆流する、「逆行性射精」が高率に起こります。
- ⑦ 病理診断：切除した前立腺の組織検査の結果、稀に隠れていた前立腺癌が見つかることがあります。この場合は、改めて前立腺癌の治療を開始することになります。

* 退院後に強い血尿や尿がつまって出なくなるなどの緊急を要する症状が出た場合は、泌尿器科予約外(夜間は救急外来)を受診するか、泌尿器科外来ケアルームにご連絡ください。

■退院後の通院

退院してからは、2週間後に一度外来受診していただきます。その後は血尿やその他の症状により受診日が決まります。

ご不明な点がありましたら主治医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来ケアルームまでお知らせ下さい。

泌尿器科外来ケアルーム 電話(03)3353-8111 内線 21313-4

経尿道的前立腺切除術を受けられる患者さんへの説明文書

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

その他、特に説明した内容

a)

-

b)

-

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医